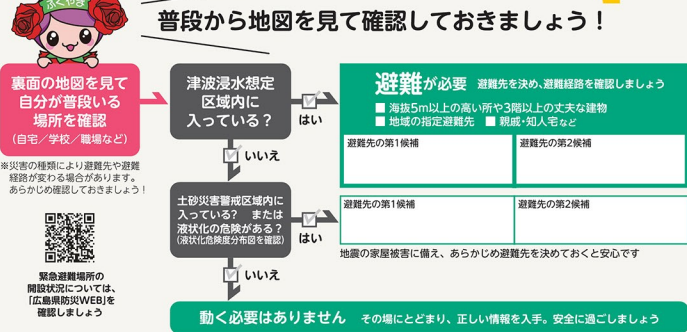


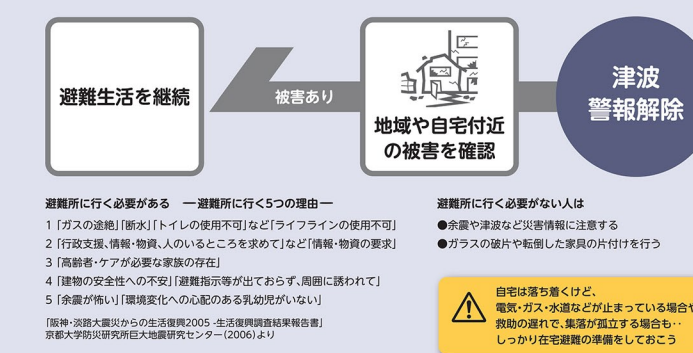
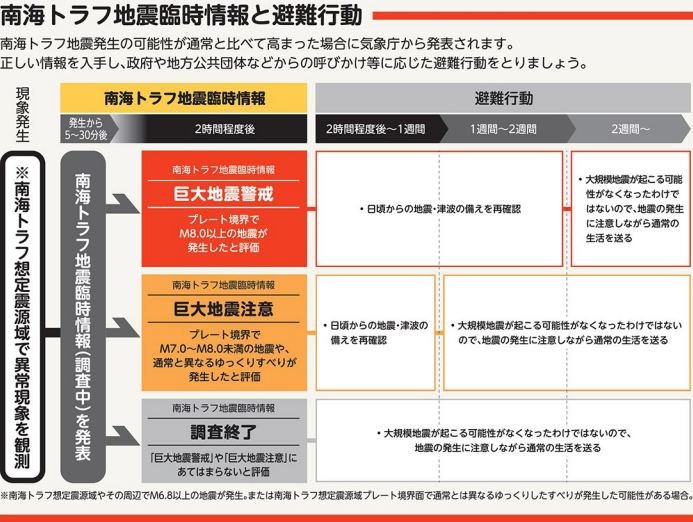
福山市 津波ハザードマップ

Fukuyama City Tsunami Hazard Map

市中心部・東部エリア



津波タイムライン 津波から安全を確保する行動



備える 日ごろから備えておくこと

災害時には、電気や水道・ガスが止まったり、道路の寸断で集落が孤立し、食べ物や生活用品が不足する可能性もあります。いざというときに備え、家族にとって必要なものを用意しましょう。ショッピングサイトやホームセンターでも購入することができます。

家族にとって必要なものを最低でも3日分、できれば1週間分を備えよう！

地震の揺れから身を守るため	水や電気が使えない時のため	自宅での生活を耐え抜くため	自宅を離れて避難するため
家を強くする 住宅や建物の耐震性を調べ、補強や改修をする	道具を備える 断水時や停電に役立つ道具を備える	食べ物を備蓄 家族が在宅避難で過ごせる飲食物を備蓄する	非常持ち出し品を準備 避難時にすぐ持ち出せる場所に必要ものを準備しておく
市の木造住宅耐震改修補助事業を活用 詳しくは、広島県住宅政策推進補助事業について	ウォータータンク（水を蓄え備蓄） 調理道具 カセットコンロ ガスボンベなど クーラーボックス ランタン 非常用バッテリー 毛布・寝袋	食料品 飲料水 1人1日3L×3日分 ローリングストックで食べながら備蓄する 普段食べている食品を少し多めに購入し、食べた分を買い足して備蓄する	食料品 賞味期限が長い飲料水や食品 生活用品 洗面用具／充電器、予備電池／携帯電話 医薬品・衛生用品 薬／救急セット／マスク 貴重品 現金（小銭）／印鑑 衣料品 避難用具 懐中電灯／携帯電話／ヘルメット ペットや赤ちゃんの備え 必要な場合
家具を固定し、家具の転倒を防止する 詳しくは、広島県「みんなで大震災」はじめての一手 日頃の心構え：日頃から行っておきましょう	簡易トイレ 水が使えない時に備えて、簡易トイレを準備！ 5回×人数×最低3日分 ＝成人の1日の平均回数	日頃から「防災一歩」を常備 外出中の災害に備えて、食料品や常備薬、簡易トイレなどが学校や職場、車などにあると安心 詳しくは、広島県「みんなで大震災」はじめての一手 災害への備え	

家族の連絡先				
家族の名前	携帯番号	日中の居場所（学校・会社など）	居場所の連絡先	津波災害時の避難先

いざというときの連絡先

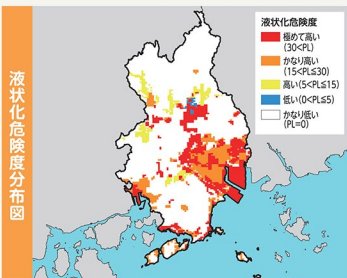
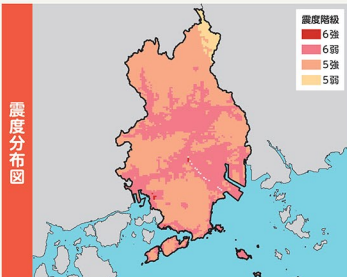
警察 110 火事・救急 119 海難事故 118 停電時 中国電力ネットワーク 0120-511-605 福山ネットワークセンター

福山市津波ハザードマップ 2026年（令和8年）8月 危機管理防災課 〒720-8501 福山市東桜町3番5号本庁舎5階 電話：084-928-1228

知る 福山市で想定される地震と津波

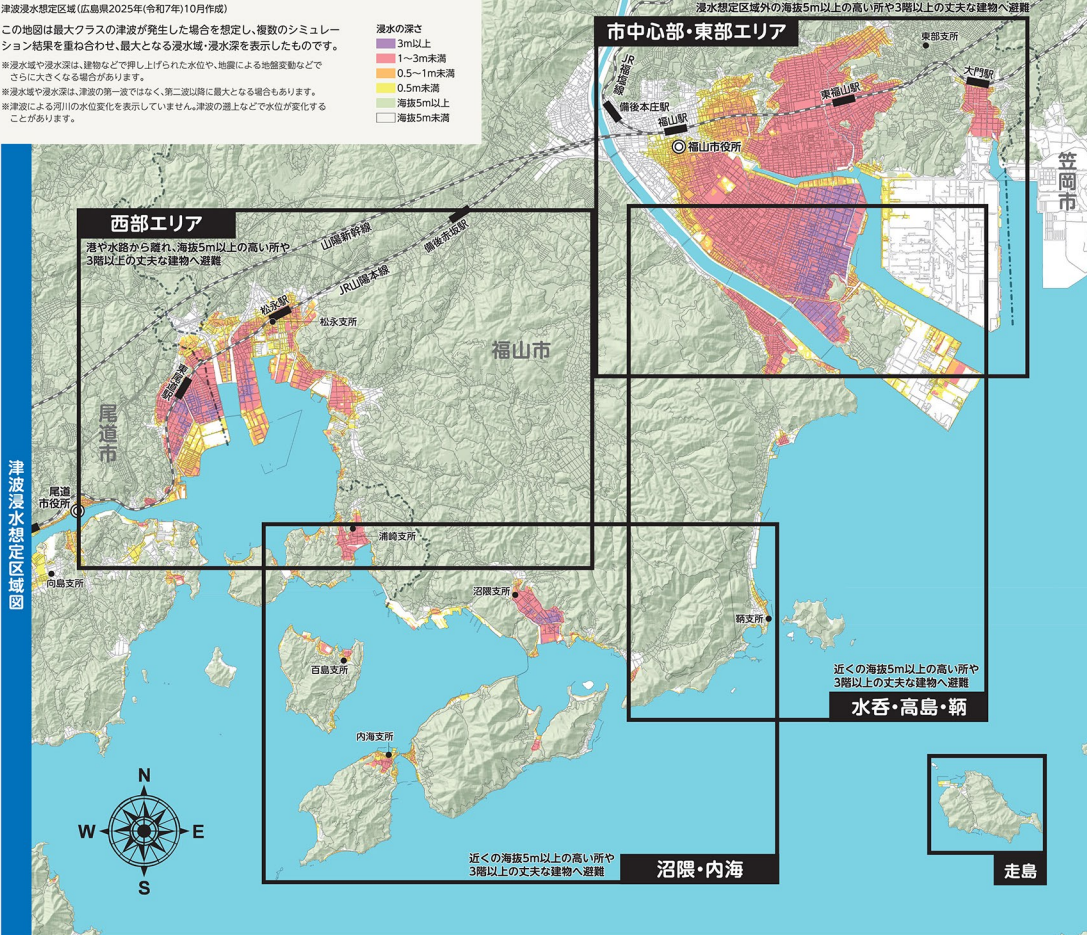
南海トラフ巨大地震				
駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域とする巨大地震	マグニチュード	福山市最大震度	海岸線における最高の津波水位	最大波到達時間
	9.0	6強	3.4m	5時間14分後
被害想定結果	揺れ	建物被害（数）	人的被害（数）	
		全壊 2,474棟	死者 131人	
		半壊 14,692棟	負傷者 2,486人	
		全壊 15,998棟	負傷者 4,393人	
津波		半壊 23,114棟	負傷者 658人	
		液状化		
		全壊 7,168棟		
		半壊 32,698棟		
土砂災害		全壊 97棟	死者 8人	
		半壊 161棟	負傷者 10人	
火災		焼失 158棟	死者 1人	
			負傷者 1人	
災害関連死			死者 389～777人	

出典：広島県地産産地調査報告書2025年（令和7年）10月



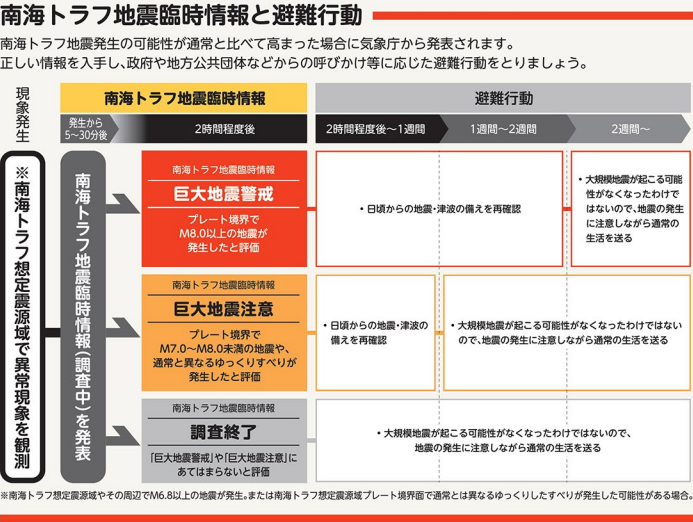
液状化とは：地震の揺れで地中にある水と砂が混ざり、液体状になり、家屋の倒壊や地中の配管の破損等の被害が起きやすくなる現象です。

福山市津波ハザードマップ全体図



命を守る

津波タイムライン 津波から安全を確保する行動



地震発生

ゆれを感じたら…

- 1 まず低く
- 2 頭を守り
- 3 動かない

南海トラフ巨大地震発生！強いゆれを感じた

マグニチュード Mw 9.0

市内では最大震度 6強

緊急地震速報

ゆれを感じたら…

- 1 まず低く
- 2 頭を守り
- 3 動かない

●津波浸水想定区域内
●土砂災害警戒区域内
●今いる場所や付近に被害

上記の場所にいる場合は危険

津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていない、また、津波の高さより居室が高い鉄筋・鉄骨コンクリートの建物の場合はその場で、安全を確保することも可能

2～3分後

津波警報発表

警報の種類／津波の高さ

津波注意報	津波警報	大津波警報
0.2m以上、1m以下の場合	1mを超え、3m以下の場合	3mを超える場合

落ち着いて、正確で新しい情報入手

広島地方気象台

福山市 報道機関等 携帯電話事業者

防災行政無線 メール配信 サービス等 テレビ ラジオ インターネット 緊急連絡メール（エリアメール） 住民のみなさん

津波浸水想定区域内に入っている人は 警報発表後避難行動開始

地域特徴	避難行動
市中心部・東部エリア	津波浸水想定区域の海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難
水呑・高島・瀬・走島	近くの海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難
沼隈・内海	近くの海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難
西部エリア	近くの海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難

避難経路が地震の被害で通れない場合や、交通渋滞で移動に時間がかかる場合もあるので、早めに避難行動を開始することが大事！

皆さんが避難します。海や川には近づかず、時間に余裕を持って安全な場所へ避難しましょう！

地震後に避難する時の注意点

- 人が大勢いる所ではあわてて出口に向かって走らず、係員の指示に従う
- 車から離れる場合は、道路の左側に寄って車を止めたまま避難する
- 避難時は、家屋や塀の倒壊、落下物、火災に注意。避難経路が家屋の倒壊や、土砂災害で通行できない場合もある。事前に複数の避難経路や避難先を確認し、普段からどう行動するか決めておこう！！

自宅を離れる前に

- ガスの元栓を閉め、電気のスイッチ、ブレーカーを切る
- 事前に準備した非常持ち出し袋を持って避難する
- 基本は徒歩で！周りに声をかけ、助け合いながら避難する

早い段階で、安全な場所へ避難することが大原則

津波到達までに海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物へ避難完了

津波は、繰り返し襲ってくる

地震発生のおよそ「17分後」から福山市沿岸で津波の影響が始めます

津波の特徴を知っておこう

- 繰り返し襲ってくる
- 20～30 cmの津波でも立っていることが出来ず、波にさらわれる
- 津波が海から川へさかのぼり、潮流が流入するおそれがある
- 地震後の堤防決壊に注意。海岸線では、地震による地盤沈下や堤防の決壊によって、津波が侵入する場合もある
- 船や流木などの漂流物を巻き込み、破壊力を増し、津波と共に襲ってくる
- 1mの高さの波に漂流物が追いついては家は壊れる
- 陸で引き潮にさらわれ、沖に流される
- 瀬戸内海では、津波が互いに重なり合い、海岸で反射して何度も押し寄せる場合がある

避難完了

- 海抜5m以上の高い所や3階以上の丈夫な建物
- 地域の指定避難先
- 親戚・知人宅など

安全な場所に避難が完了したら、避難したことを家族や知人に連絡する

外出中の家族の安全を確認
災害用伝言ダイヤル 171
災害用伝言板 web171